

岩手県感染症週報

平成14年第25週（6月17日～6月23日）

岩手県結核 感染症情報センター

第25週の概要

1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

- ・盛岡地区で腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例ありました。

4 類感染症（全数把握対象疾患）

- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

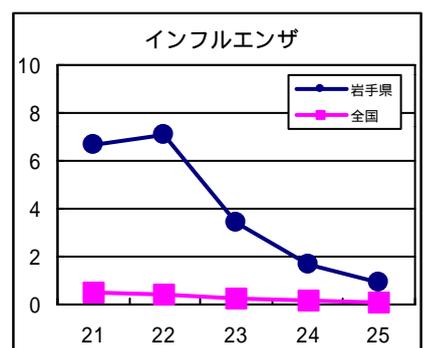
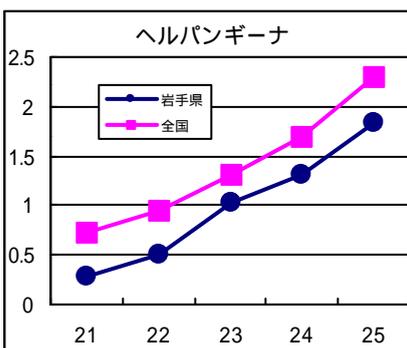
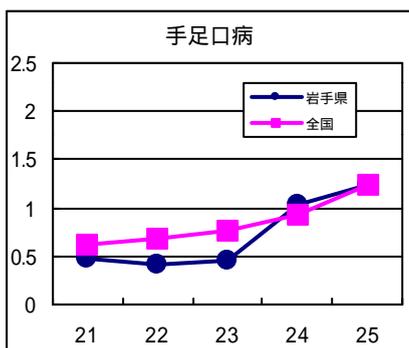
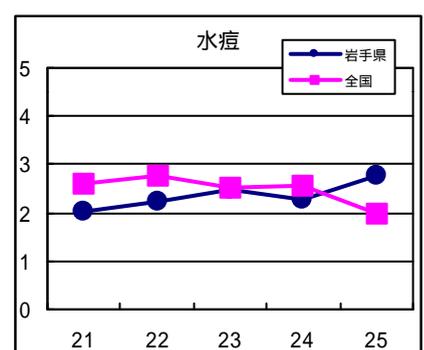
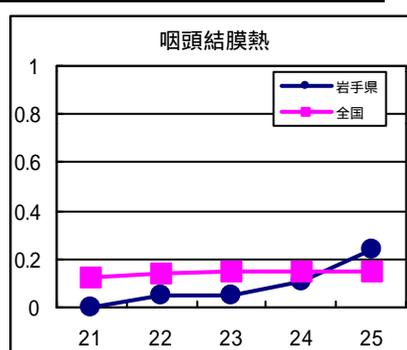
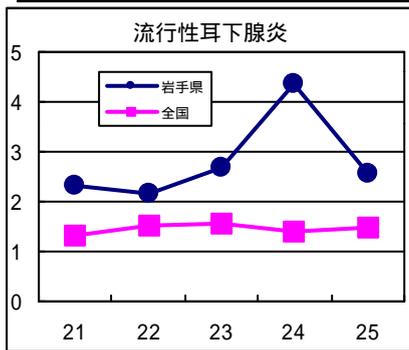
- ・先週患者数が急激に増加した流行性耳下腺炎は、今週は患者数が減少し、定点当たり患者数は2.58となりました。しかし、一関、久慈、二戸地区は警報ライン（定点当たり患者数5）を越えており、引き続き注意が必要です。

流行性耳下腺炎は接触または飛沫感染で伝搬し、潜伏期間は2～3週間です。予防にはワクチンが効果的ですが、患者と接触してからの接種では、症状の軽減は認められても発症を防ぐことは困難であるといわれています。集団生活に入る前に予防接種を受けておくことが大切です。

- ・咽頭結膜熱が増加傾向にあります。盛岡、花巻、大船渡地区で患者が発生しています。
- ・水痘が緩やかに増加しています。水沢、一関、釜石地区で患者数が増加しています。
- ・手足口病は先週に引き続き患者数が増加しており、花巻、一関地区で患者数が増加しています。
- ・ヘルパンギーナは4週連続で患者数が増加しています。特に北上地区では定点当たり患者数が6.33と急激に増加しました。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		21	22	23	24	25	
インフルエンザ	岩手県	6.69	7.06	3.39	1.63	0.9	↘
	全国	0.53	0.42	0.23	0.15	0.11	
咽頭結膜熱	岩手県	0	0.05	0.05	0.11	0.24	↗
	全国	0.12	0.14	0.15	0.15	0.15	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.76	1.32	1.05	0.63	0.53	↘
	全国	1.43	1.57	1.48	1.35	1.24	
感染性胃腸炎	岩手県	3.34	2.34	2.32	1.92	1.55	↘
	全国	4.58	4.59	4.16	3.69	3.57	
水痘	岩手県	2.03	2.24	2.5	2.29	2.76	↗
	全国	2.59	2.77	2.53	2.58	1.99	
手足口病	岩手県	0.47	0.42	0.45	1.03	1.24	↗
	全国	0.63	0.68	0.76	0.92	1.24	
伝染性紅斑	岩手県	0.13	0.29	0.05	0.08	0.26	→
	全国	0.7	0.68	0.67	0.59	0.61	
突発性発疹	岩手県	0.37	0.63	0.37	0.66	0.45	→
	全国	0.79	0.83	0.82	0.89	0.87	
百日咳	岩手県	0	0.05	0	0	0	→
	全国	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	
風疹	岩手県	0.03	0	0	0	0	→
	全国	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	
ヘルパンギーナ	岩手県	0.29	0.5	1.03	1.32	1.84	↗
	全国	0.72	0.94	1.32	1.69	2.29	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0.11	0.05	0	→
	全国	0.17	0.16	0.14	0.14	0.11	
流行性耳下腺炎	岩手県	2.34	2.16	2.66	4.34	2.58	→
	全国	1.33	1.51	1.56	1.39	1.48	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.04	0.03	0.04	0.02	0.03	
流行性角結膜炎	岩手県	1.25	0.58	0.58	1.17	0.58	→
	全国	1.18	1.17	1.29	1.27	1.11	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0.05	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0	0	0.01	0.01	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.12	0.12	0.14	0.26	0.29	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.15	0.2	0.05	0.1	0.05	→
	全国	0.14	0.15	0.19	0.12	0.1	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0	0	0.01	0.02	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.04	0.04	0.02	0.03	0.04	

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

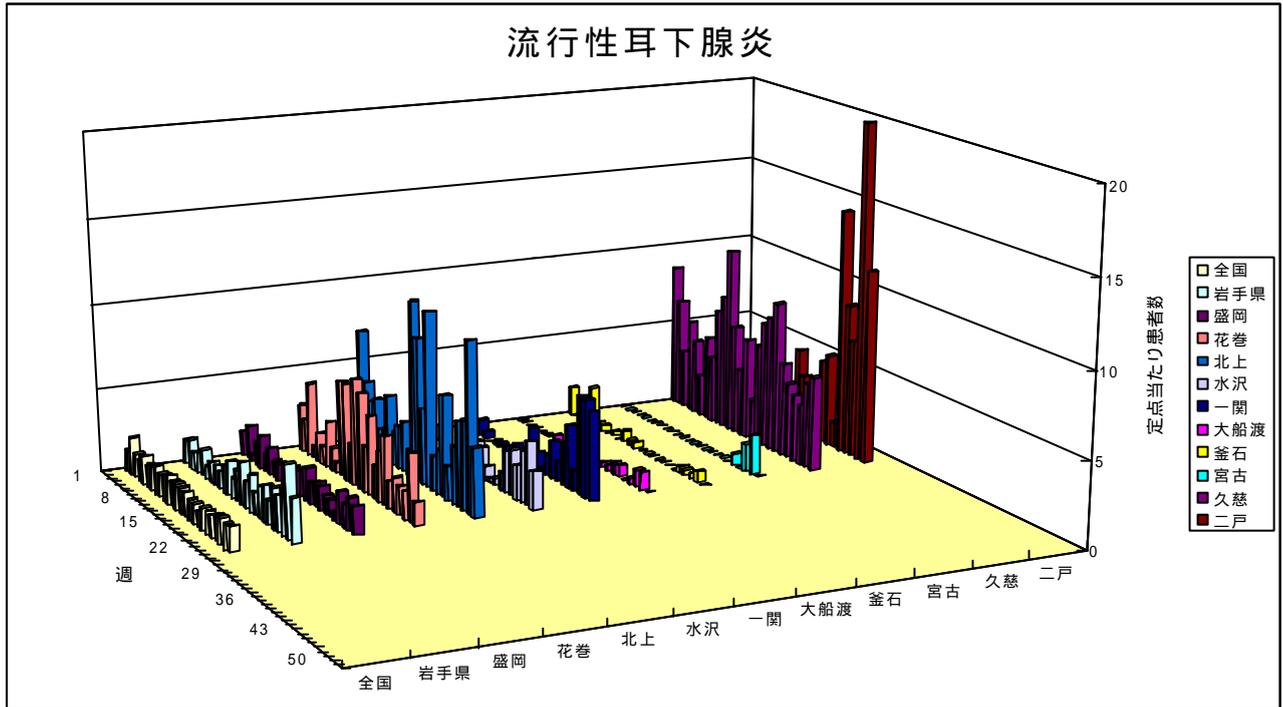
分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 21	22	23	24	25	累計	25	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	14
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	8	403
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	33
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	18
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	2	0	1	1	8	87	774
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	8	216
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	4
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	38
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	1	0	0	0	0	7	9	556
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	23
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	2	100
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	0	0	0	3	1	61
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	48
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	2	11	383
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	54
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	3
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	1	0	0	0	0	6	1	106
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	26
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	4
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	14	251
	破傷風	0	0	0	0	0	0	1	37
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	17
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	38
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	3
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	0	45	

今注目の感染症

流行性耳下腺炎

流行性耳下腺炎は過去には3～4年周期で流行が繰り返されてきました。1989年にMMRワクチンが導入され流行は一時抑えられましたが、1993年に同ワクチンが中止されたこともあり、1994年以降再び3～4年周期での患者数の増減がみられています。本県では、昨年夏頃より患者数が多い状態が続いています。

症状は基本的には軽症と考えられていますが、無菌性髄膜炎や、思春期以降では睾丸炎や卵巣炎を併発することがあるので注意が必要です。



ツツガムシ病

盛岡地区でツツガムシ病による死亡事例が発生しました。

ツツガムシ病はダニの一種であるツツガムシの幼虫に刺された時、ツツガムシの幼虫に寄生していたリケッチアに感染して発症します。ツツガムシは山林や草地の土の上に生息していますが、幼虫の時期に一度だけ地表に出て、野ネズミなどの動物に吸着して組織液を吸います。

これからの季節（春～初冬）は本病の発生時期です。農作業等の屋外作業の時は長袖、長ズボン、長靴、手袋等を着用し、素肌の露出を避けましょう。また、農作業の後は必ず着替え、入浴をしましょう。農作業から1週間前後に高熱、発疹、刺し口等の症状が現れた場合は、速やかに医療機関を受診し、草地などの感染のおそれのある場所に立ち入ったことを申し出ましょう。

病原体検出情報

第24週に採取したインフルエンザ患者の咽頭ぬぐい液から、B型インフルエンザウイルスを1例検出しました。

集団感染情報

山形村川井の山形中学校のサッカー部員19名のうち13名が下痢、吐き気、発熱などのため6月24日学校を欠席しました。そのほかに生徒4名、部員の父母7名にも同様の症状がありました。同校サッカー部は6月20日に学校で県中学校総合体育大会地区大会の慰労会を開催し、患者はバーベキューなどを食べていました。二戸保健所では、患者の便及び慰労会の食材を検査し、原因を調べています。

医療機関からの情報

医療機関で患者さんを診療している先生方からの情報をお待ちしております。

医療現場の生の声をぜひお聞かせください。

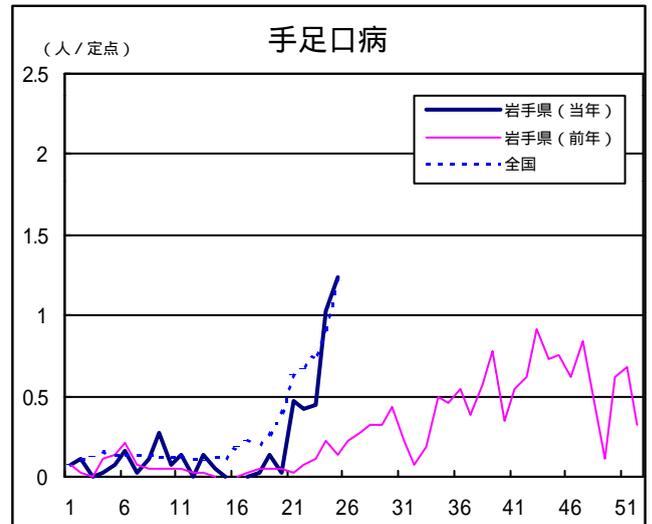
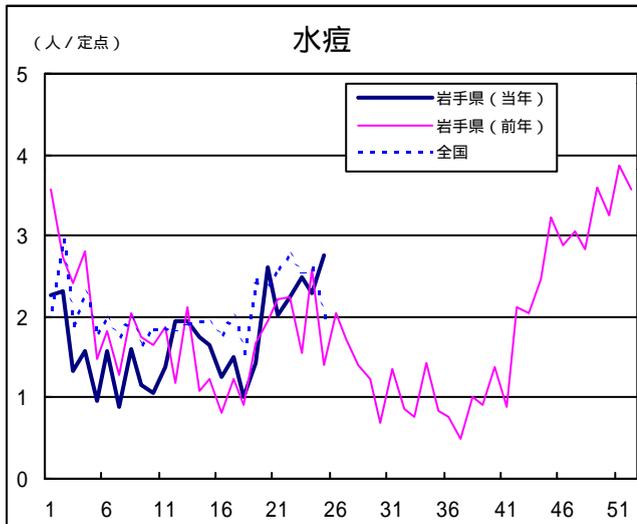
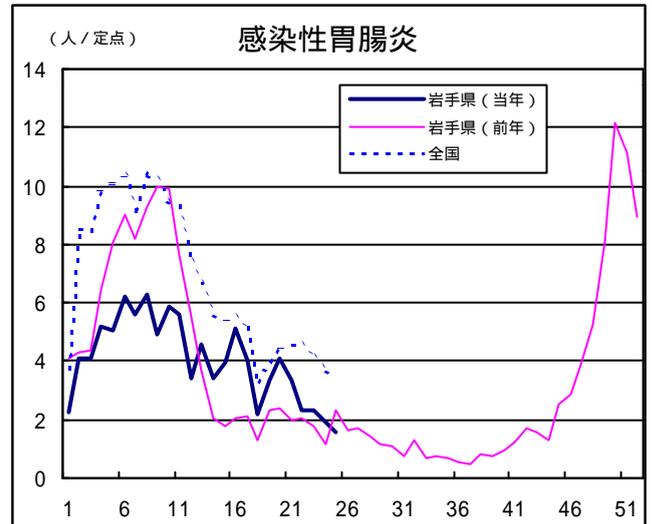
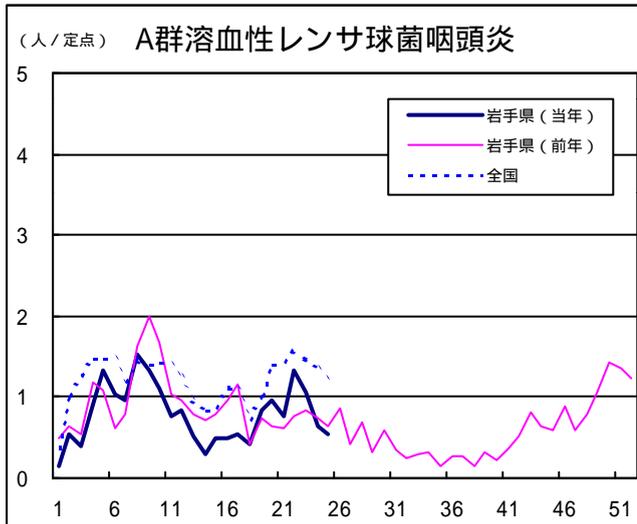
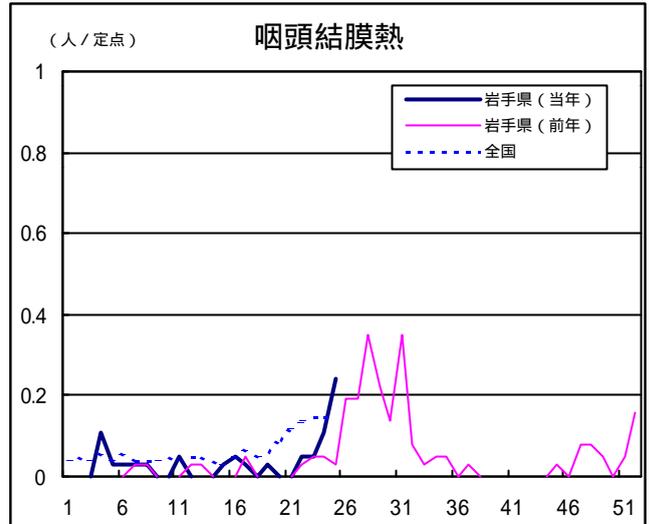
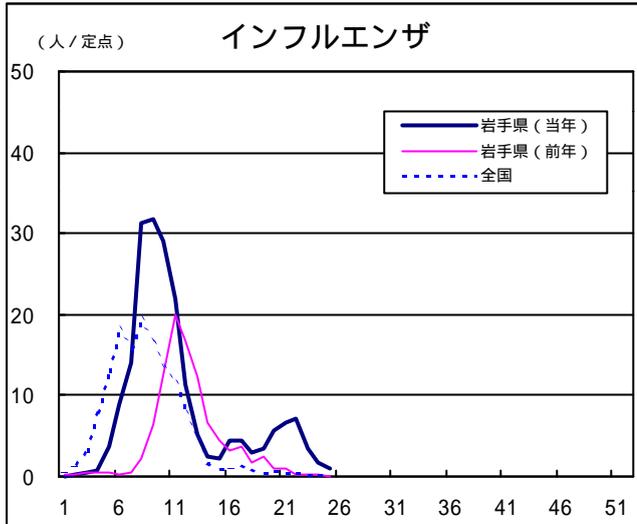
Q & A

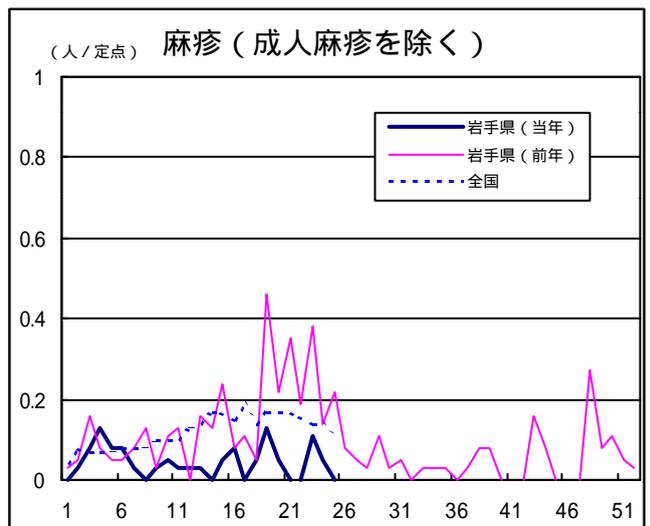
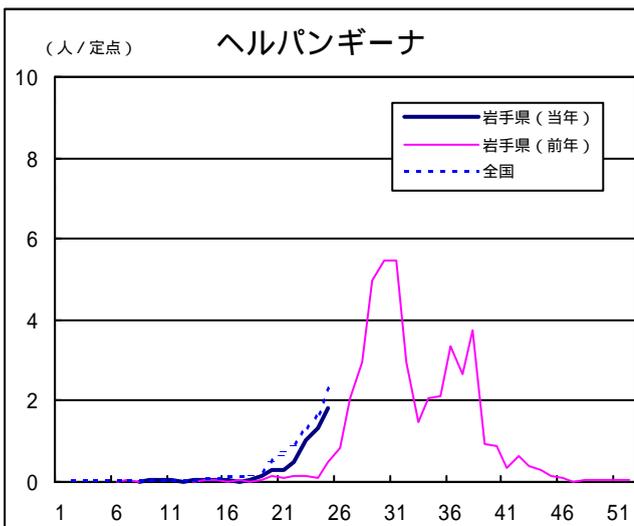
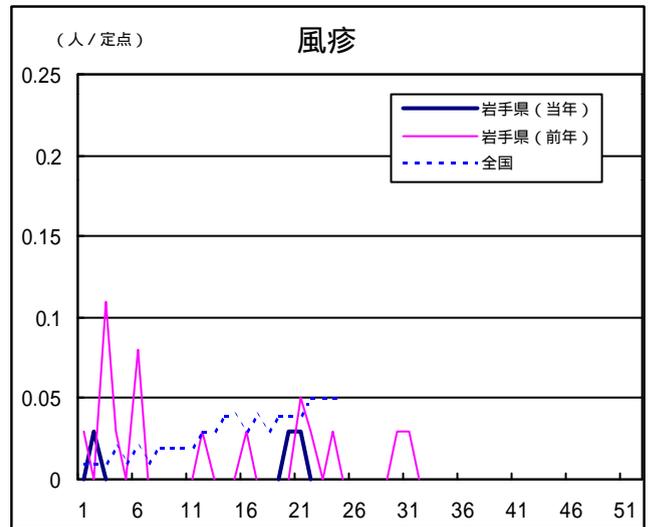
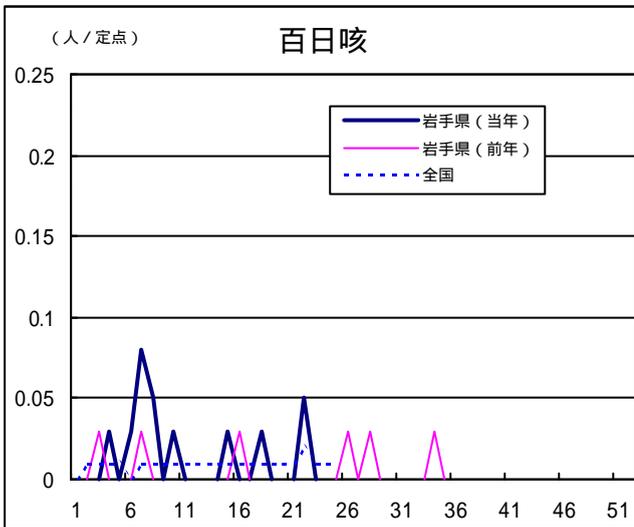
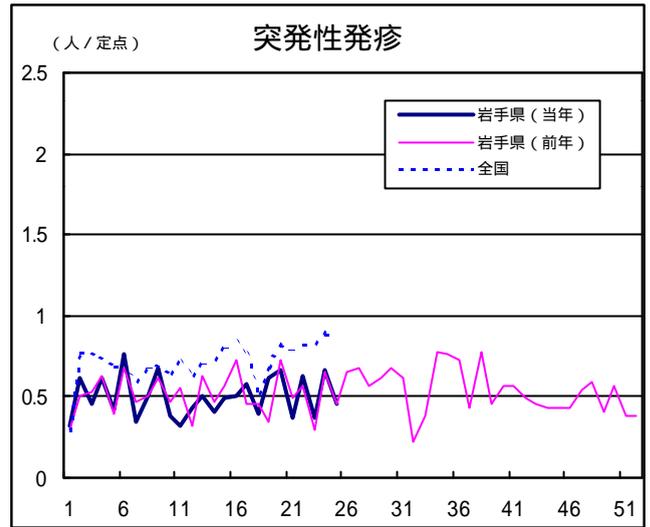
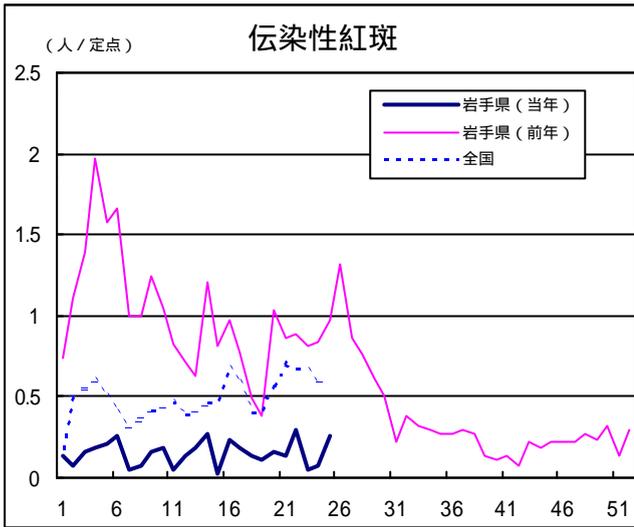
読者の皆様からのご質問をお受けしております。

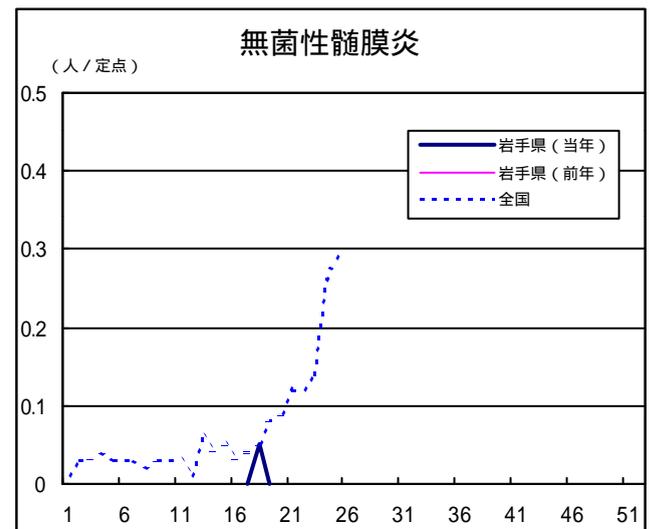
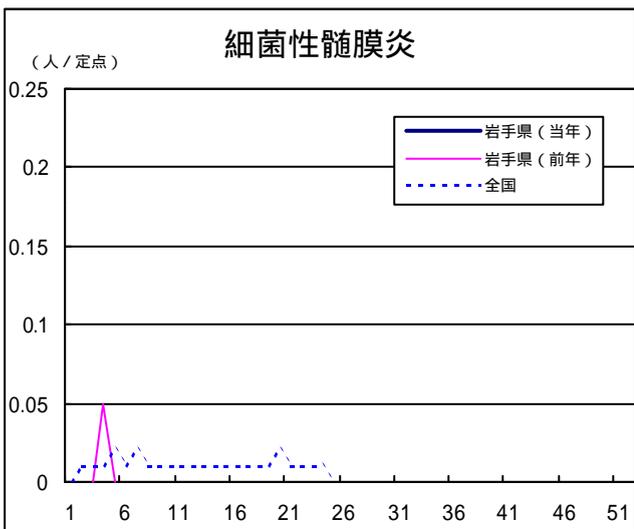
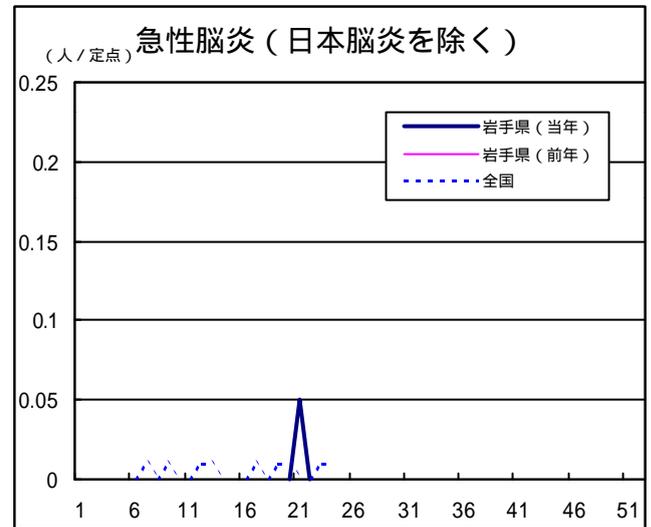
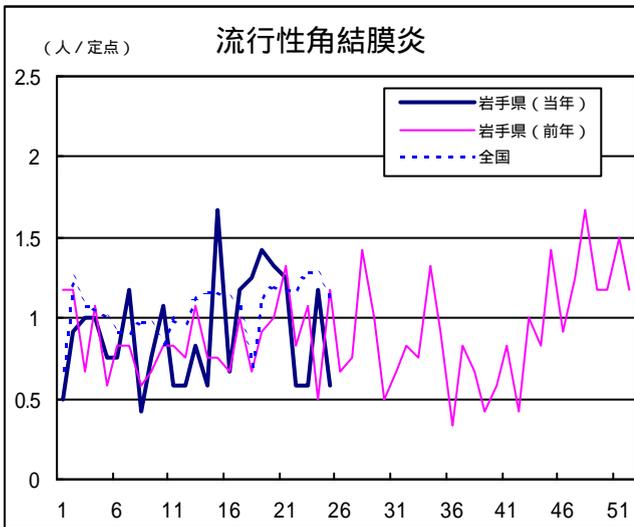
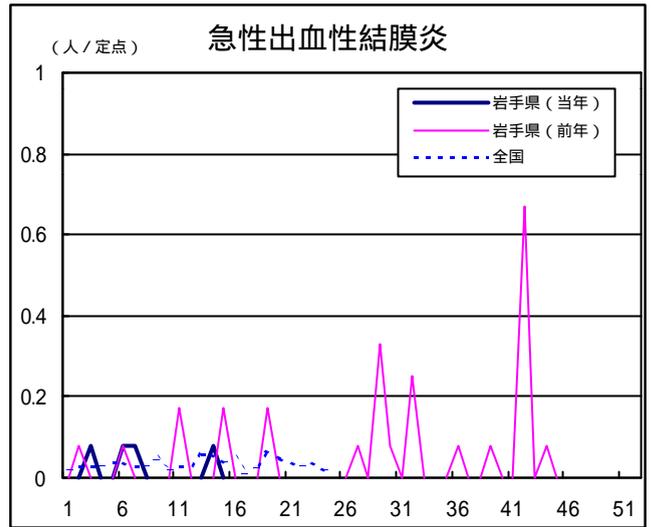
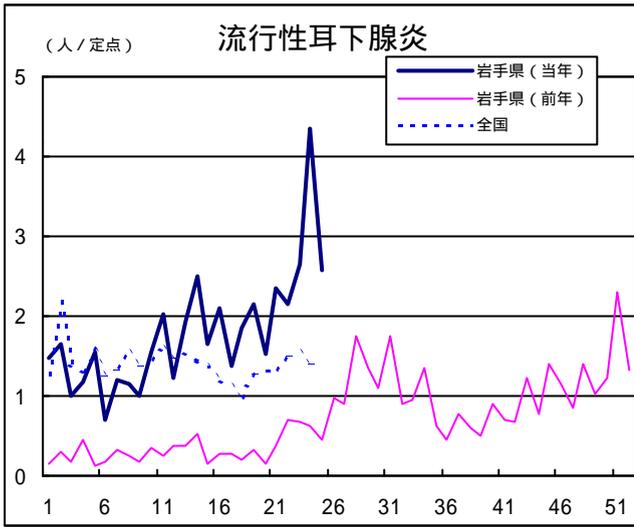
お寄せいただいたご質問につきましては、この欄でお答えします。

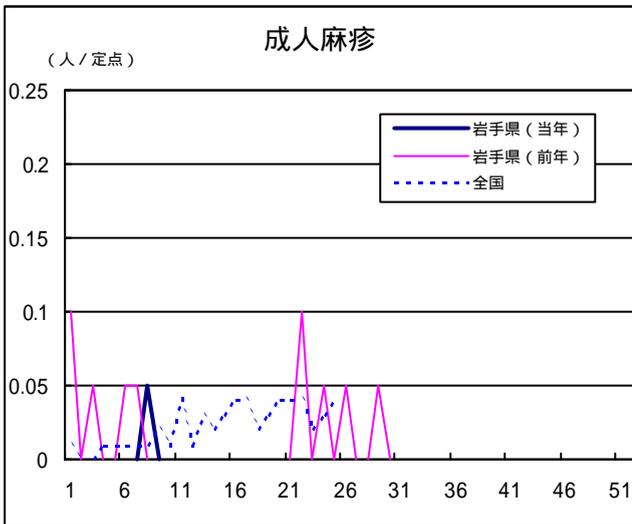
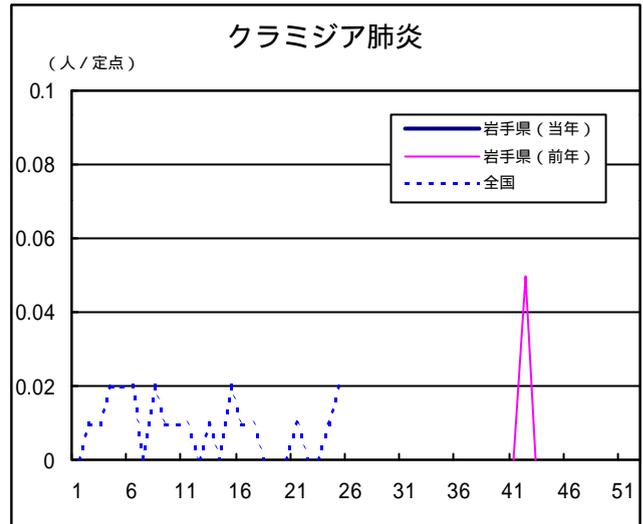
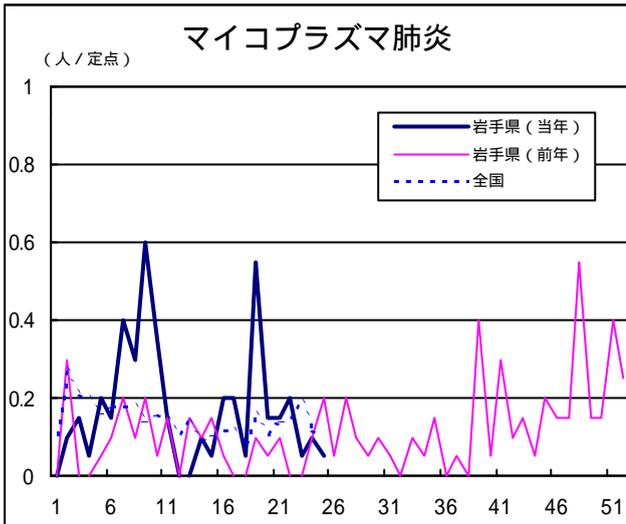
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手県感染症週報 平成14年第25週 平成14年6月28日発行

監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部保健衛生課

事務局：岩手県結核・感染症情報センター

(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

URL : <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県結核・感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>

<岩手県保健福祉部保健衛生課>